

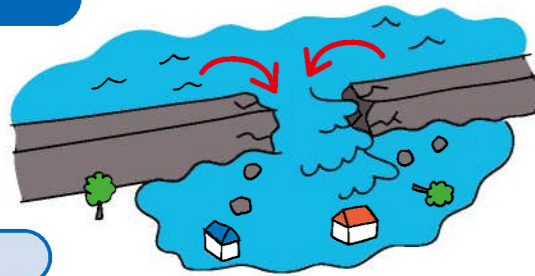
# 洪水

関連  
WEBサイト

気象庁 高解像度降水ナウキャスト  
気象庁 大雨警報(浸水害)の危険度分布

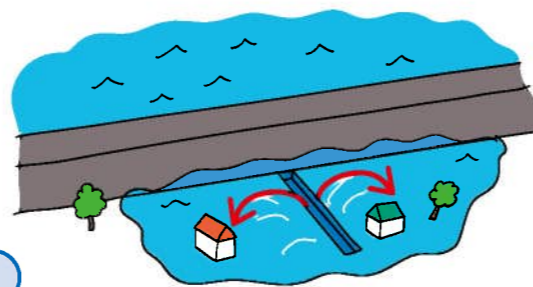
気象庁 洪水警報の危険度分布  
宮崎県 雨量・水位

## 氾濫の種類



外水氾濫

河川の堤防から水が溢れ、または堤防が決壊して家屋や田畑が浸水すること。



内水氾濫

堤防から水が溢れなくても、川の水位上昇や下水路の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できずに引き起こされる氾濫のこと。

## 雨の降り方と強さ

1時間雨量や予報用語は気象庁やニュースなどの気象情報でよく使われています。このイメージを参考に雨の降り方に注意しましょう。

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	120mm
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	<b>記録的短時間大雨情報</b>
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表) 特に、土砂災害警戒区域や浸水想定区域にお住まいの方は、避難情報を確認し、早めに避難行動をとってください。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる	傘は全く役に立たなくなる			
屋内(木造住宅を想定)の様子	雨の音で話し声が良く聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく				
屋外の様子	地面一面に水たまりができる	道路が川のようなになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる			

※今いる場所で雨が降ってなくても、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

## 三ヶ所川の水位情報

▼ 堤防を越える		貫原橋
▼ 氾濫危険水位	河川が氾濫する恐れがある水位	3.40m
▼ 避難判断水位	避難情報発表の目安となる水位	2.90m
▼ 氾濫注意水位	河川の氾濫の発生を注意する水位	1.80m
▼ 水防団待機水位	水防団が待機する目安となる水位	1.30m

## 危機管理型水位計

洪水時のみの水位観測に特化した小型で低コストの水位計で、川の水位が上昇した時に自動的に作動して水位を観測します。(平常時は1日1回のみ)

- 五ヶ瀬川 両国橋
- 五ヶ瀬川 本屋敷橋

## 洪水警報の危険度分布

中小河川の洪水災害発生危険度の高まりを、5段階に色分けして示した情報です。避難に係る時間を考慮して、3時間先までの雨の予測値(10分ごとに更新)を用いており、洪水警報が発表されたときに、どの川で危険度が高まっているかを把握することができます。



QRコードからも確認できます

極めて危険  
非常に危険【警戒レベル4相当】  
警戒【警戒レベル3相当】  
注意【警戒レベル2相当】  
今後の情報等に留意

# 土砂災害

関連  
WEBサイト

気象庁 土砂災害警戒情報  
気象庁 大雨警報(土砂災害)の危険度分布

宮崎県 土砂災害危険度情報

## 土砂災害防止法について

宮崎県では、土砂災害が発生するおそれがある区域として、「土砂災害警戒区域」「土砂災害特別警戒区域」を指定しています。

### 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、住民等の生命または身体に危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

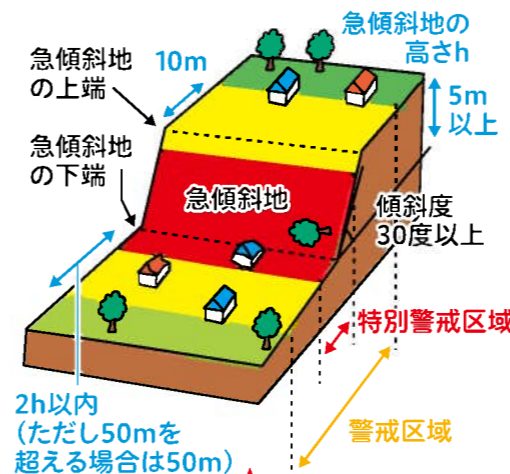
### 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)

がけ崩れ等の土砂災害が発生した場合に、建築物に損壊が生じ、住民等の生命または身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる土地の区域で、特定の開発行為の制限、建築物の構造規制等が行われます。

## 土砂災害の種類とその前兆現象

### 急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)

斜面の地表に近い部分が、雨水の浸透や地震等でゆるみ、突然崩れ落ちる現象です。

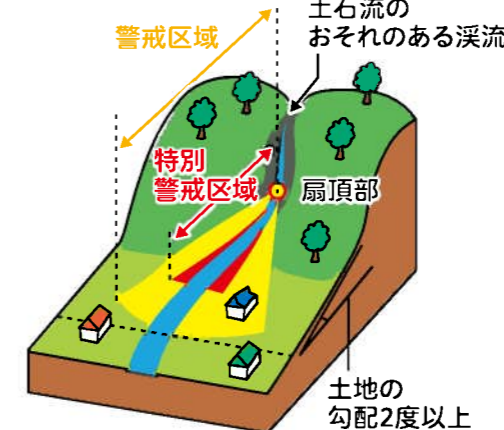


#### 前兆現象

- がけに割れ目が見える
- がけから水が噴出する
- がけから小石がパラパラ落ちてくる

### 土石流

山腹や川底の石、土砂が長雨や集中豪雨等によって、一気に下流へと押し流される現象です。

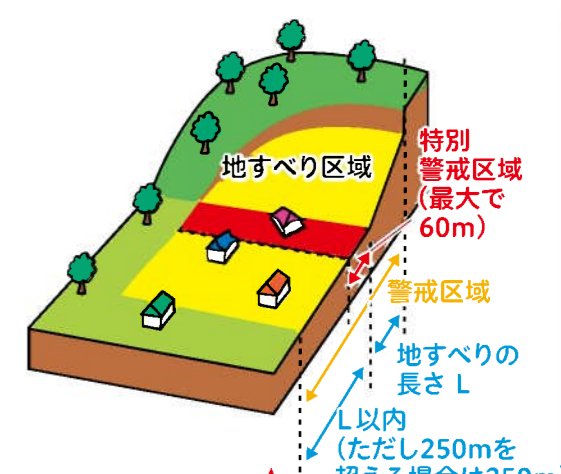


#### 前兆現象

- 山鳴りがする
- 川の流が濁り、流木が混ざりはじめる
- 雨が降り続けているのに川の水位が下がる

### 地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によって斜面下方に移動する現象です。



#### 前兆現象

- 地面にひび割れができる
- 沢や井戸の水が濁る
- 斜面から水が噴き出す

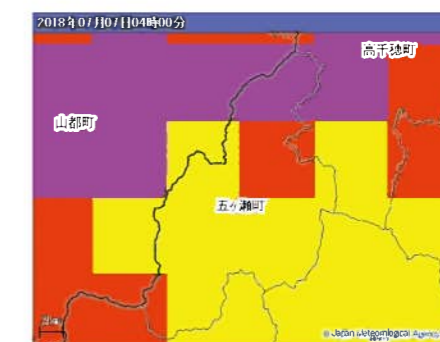
## 土砂災害警戒情報【警戒レベル4相当】

大雨警報(土砂災害)発表後も雨が降り続き、土砂災害発生危険性が高まったときに、宮崎県と宮崎地方気象台が共同で発表します。警戒対象地域は市町村単位で発表されるので、自主避難の判断に活用できます。

土砂災害警戒情報が発表されたときは、『いつ土砂災害が発生してもおかしくない』という非常に危険な状態です。

## 大雨警報(土砂災害)の危険度分布

土砂災害発生危険度の高まりを、1km四方(メッシュ)の領域ごとに5段階に色分けして示した情報です。避難に係る時間を考慮して、土壌雨量指数の2時間先までの予測値(10分ごとに更新)を用いており、警報などが発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



QRコードからも確認できます

極めて危険【警戒レベル4相当】  
非常に危険【警戒レベル4相当】  
警戒【警戒レベル3相当】  
注意【警戒レベル2相当】  
今後の情報等に留意